

特色ある私学経営につき現地見学会

| | | |
|------------|--|---|
| 日・時 見学先 | 【西日本地区】関西外国語大学 定員 40名 | 【東日本地区】千葉商科大学 定員 40名 |
| | 2019年6月5日(水) 午前10時45分 御殿山キャンパス・グローバルタウン正門集合 午後4時頃現地にて解散予定 所在地 大阪府枚方市御殿山南町6-1 (TEL. 072-805-2701) 〔京阪電車「枚方市」駅下車、徒歩17分〕 | 2019年6月28日(金) 午前10時45分 本館3階3-1会議室集合 午後4時頃現地にて解散予定 所在地 千葉県市川市国府台1-3-1 (TEL. 047-372-4111) 〔京成線「国府台」駅下車、徒歩10分〕 |

上記いずれか、又は双方の見学会に参加できます。
昼食はご用意いたします。

参加は、1法人につき両会場あわせて2名様までとさせていただきます。

本セミナーの概要

厳しい経営環境にめげず幾多の私学が一貫した長期ビジョンをもって学園の独自性を発揮し、学園の立地環境に適応した創意工夫を積重ねつつ発展を続けておられます。

その経営の実情について現地大学を訪問し、理事者のご方針をお伺いしつつ、現場における貴重な実践の姿を見学させていただきます。

一般講習会では吸収できない生きた私学経営の姿に触れることのできる貴重な機会ですので、私学理事者・管理者の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

申込要領

申込方法 本会ホームページ (<http://sikeiken.or.jp/>) の「セミナー申込フォーム」からお申込みいただくか、Eメールに必要事項(参加日、学園名、住所、参加者の役職、氏名)をご記入のうえ、お申込み下さい。
申込書に記載された学園名、ご住所、役職名、ご氏名等の個人情報は、参加証・請求書・領収書等の発送のために使用します。

申込〆切日 各会場40名の定員に達した時点で受付を終了させていただきます。お早めにお申し込みください。
なお、諸準備の都合上、お申し込みは見学日の1週間前まで〆切らせていただきます。
また、参加申込後のご変更は至急お電話でお知らせ下さい。

参加料 本会の会員は、各会場いずれかご1名様のみ無料です。ただし、追加ご1名様のご参加料は5,400円です(消費税込)。なお、追加参加料は、請求書をご確認の上、銀行振込でセミナー開催日前までにお納め下さい。

お問合せ先 公益社団法人 私学経営研究会 事務局
533-0033 大阪市東淀川区東中島1丁目21番33号 俵ビル3階
TEL. 06-6321-2666 / FAX. 06-6321-3207
E-mail: skkseminar@sikeiken.or.jp

見学プログラム

6/5 (水) 関西外国語大学

(学校法人関西外国語大学 理事長 谷本 榮子先生)

10時45分集合

御殿山キャンパス・グローバルタウン正門

午前中 学園ご関係者挨拶、大学の概要及び方針
のご説明、質疑応答の後、昼食休憩。

午後 施設見学、16時頃現地にて解散予定。

6/28 (金) 千葉商科大学

(学校法人千葉学園 理事長 原田 嘉中 先生)

10時45分集合

本館3階3-1会議室

午前中 学園ご関係者挨拶、大学の概要及び方針
のご説明、質疑応答の後、昼食休憩。

午後 施設見学、16時頃現地にて解散予定。

学園のご紹介

学校法人 関西外国語大学

関西外国語大学の歴史は、太平洋戦争終戦直後の1945年11月、大阪市内に設立された「谷本英学院」にさかのぼります。創立者は、日本の戦災からの復興と国際社会への復帰には外国語教育が重要と考えたのです。その思いは「国際社会に貢献する豊かな教養を備えた人材の育成」と「公正な世界観に基づき、時代と社会の要請に応じていく実学」という建学の理念として掲げられました。

関西外国語短期大学などを経て、1966年に関西外国語大学を開学し、外国語学部を設置しました。大学院修士課程の開設に続き、1979年には国内の外国語大学初の大学院博士後期課程を設置。さらに短期大学を関西外大短期大学部に改編するとともに、国際言語学部を開設しました。2011年には英語キャリア学部を、2年後に同学部英語キャリア学科小学校教員コース、2014年には国際言語学部を改組した英語国際学部を開設し、大学と大学院、短大部を合わせ学生数12,830人(2018年5月1日現在)の大学に成長しました。

建学の理念を踏まえ、2009年には中・長期ビジョン「関西外大ルネサンス2009」を制定しました。「外大ビジョン・6つの柱」を新たな指針に位置づけ、21世紀に向けて本学が進むべき方向性を明示しました。この指針に基づき、学部の新設や改組、施設の充実に取り組んできました。

2018年春には、御殿山キャンパス・グローバルタウンが開学しました。「キャンパスに街をつくる」をテーマに、ヨーロッパの住宅をイメージした洋瓦の教室棟やカフェを採り入れた斬新な設計としました。最大の特徴は、学生と留学生の居住施設「グローバル・コモンズ結-YUI-」で、約650人が学食住をともにしながら異文化体験ができる仕組みになっています。同キャンパスの完成により、至近距離にある中宮キャンパスとの一体運用が可能となりました。

本学は全国有数の留学ネットワークを形成しています。海外の単位互換協定大学は2019年2月現在、55カ国・地域の385大学あり、海外に派遣する学生は年間約1,830人、受け入れる外国人留学生は同約620人です。本学は2025年に創立80周年を迎えるのを見据え、2019年に中期計画を策定する予定で、グローバル人材の育成を中心とした教育の質の向上や学生支援の充実を図っていきます。



学校法人 千葉学園

学校法人千葉学園は、千葉商科大学及び千葉商科大学附属高等学校を運営する学校法人です。千葉商科大学(Chiba University of Commerce)は、1928(昭和3)年に文学博士遠藤隆吉によって創立された巣鴨高等商業学校を前身とし、2018年には創立90周年を迎えました。

遠藤隆吉博士は、退廃した商業道徳を正すために武士道精神の注入を商業教育の基本に据え、学問においては社会に役立つ実学を、人間形成においては「治道家(ちどうか - 大局の見地に立ち、時代の変化を捉え、社会の諸問題を解決する高い倫理観を備えた指導者)」の育成を教育理念とする学校を開学しました。その後、新学制の施行により1950(昭和25)年4月、現在の名称である千葉商科大学として4年制大学となって以降は、商経学部、2000年に政策情報学部、その後、サービス創造学部、人間社会学部、国際教養学部を擁する社会科学系の総合大学に発展。その間もその教育理念は忠実に継承されてきました。

現在、大学では戦略的な経営計画に基づく総合的改革が進行中です。2014年、創立100周年に向けた将来構想「CUC vision 100」を策定し、その下に5年間の第1期中期経営計画を実行、さらに2019年から第2期中期経営計画がスタートします。このビジョンの実現に向けて人的・物的資源を総動員して総合的かつ全学的に取り組み、さらなる飛躍へと歩みを続けています。

2017年から学長の掲げる基本戦略のもと、地域に貢献する教育研究拠点をめざして「会計学の新展開」、「CSR研究と普及啓発」、「安全・安心な都市・地域づくり」、「環境・エネルギー」の4つのテーマからなる全学的なプロジェクトを展開し、地域を志向した社会づくりや大学としてSDGs(持続可能な開発目標)へ貢献しています。プロジェクトの中でも特に先駆けているのが、日本初の「自然エネルギー100%大学」をめざす大きな挑戦です。これは2020年度までに大学所有のメガソーラー発電所などの発電量と、大学の消費エネルギーの総量を同量にするというもので、目標発表から約1年後の2019年1月には創エネと省エネにより電力に関して100%を達成しました。

